

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

田辺工業高

旋盤やプログラミング

中学生が体験学習

田辺市あけぼのの田辺工業高校は18日、中学3年生を対象にした体験学習を開いた。194人が参加し、学科に分かれ、実習授業を見学したり、体験したりした。毎年この時期に、進路選択の参考になると聞いて

いる。花本明校長は「10年後、20年後も機械をメンテナンスする仕事は、機械が人間に取って代わることはないと確信している。工業高校は就職有利であることを知つてほしい」とあいさつした。

全体会では、生徒会から学

校や学科の紹介、体操部と弓道部のパフォーマンスがあつた。その後、中学生は希望の学科に分かれ、高校生の案内に従つて、工業高の専門的な授業を見学し体験した。部活動の見学もあった。

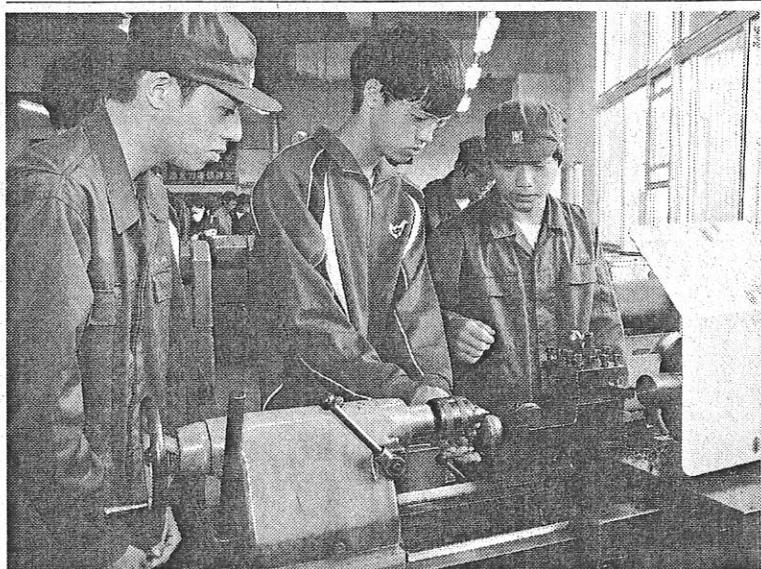
機械科ではフライス盤やC A D (コンピューターによる設計)などを体験。実際に、目を保護する眼鏡を掛けて、旋盤を使って金属を削つた。

電気電子科ではモーターの動

を放電したりした。情報システム科では、ロボットのプログラムを設定して、前のロボットに付いて動くようにするなどの体験があった。

すさみ町周参見中学校の橋本響君(14)は「普段できない体験ができてよかったです。高校

生は細かく優しく教えてくれた」と話し、田辺市高雄中学校の瀧本明花さん(14)は「設備が充実していて、前から興味はあつたけどもつと、受験したいと思った」と笑顔を見せた。



高校生の指導の下、旋盤の機械で金属を削る中学生
(田辺市あけぼの)